

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）： Queen Mary University of London (英国)

## Q. 今回の留学プログラムの感想

研究室に身を置く経験は日本でもしてこなかったので、初めてのことはばかりで充実した日々になりました。毎日研究室に通っている人は少ない印象で、10時ごろから少しずつ集まり始め17時頃には誰もいなくなるなど、研究員の皆さんは自分の時間を大切にしている様子が印象的でした。研究内容も、自身の興味に割と近い形で実現してくださり、研究室の皆さんも親切に新参者の私を受け入れてくださいました。実際に海外の研究室に滞在することで、自分の将来の姿を具体的に思い浮かべることができたので、海外で研究実習を経験できて非常に良かったです。

## Q. 健康管理や危機管理について

滞在先のカーテンレールを落としてしまったこと。建物自体が古いので丁寧に扱うように注意されていて、丁寧に生活していたつもりだったが修理費用が掛かってしまった。また、被害はなかったが生活に慣れてきたころから油断して割と携帯を外で無防備に触ってしまっていた。

## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

私は今回の留学に非常に満足していますし、日本に留まって居たら絶対に経験できないことを日々経験出来たという自負があります。派遣前には卒後の大学院進学なんて全く考えていませんでしたが、実際に見て体験することで、将来の選択肢の幅を広げることができました。どんな留学プログラムでも、いつか必ずご自身に返ってくる経験となると思います。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

自分のそもそもの英語力に加え、イギリス英語と専門用語に困まれていくという不安は未知数だった。選考時、帰国後に必要な提出物の複雑さと量の多さは大変だった。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：渡航後初週末に現地の友人とアフタヌーンティーをした時の写真です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



**留学/派遣先（国名）：キングスカレッジロンドン（英国）**

## Q. 今回の留学プログラムの感想

イギリスで生活するのは初めてだったので、日本や他国との文化風習の違いを知ることが出来ました。特に研究室の人たちはイギリス、タイ、中国、インド、スペイン、リトアニアなど多国籍でイギリスだけでなく様々な文化に触れることができたのがとても良い経験でした。研究室もオープンで、ティーパーティーなど多研究室との交流が盛んだったのが良かったです。毎週1度のLab meetingやseminarへの参加を通して、さまざまな分野の研究に対する知見が深まりました。研究がどのようなものなのか、自分の視野を広めることができ将来の選択肢が増えたなど感じます。

## Q. 健康管理や危機管理について

8月は軽く体調を崩してしまいましたが、日本からもってきた風邪薬がとても役に立ちました。また観光地のすぐ近くでも喧嘩勃発しているところに遭遇したので（稀ですが）危険だと感じたらすぐに離れることが大切だと思います。

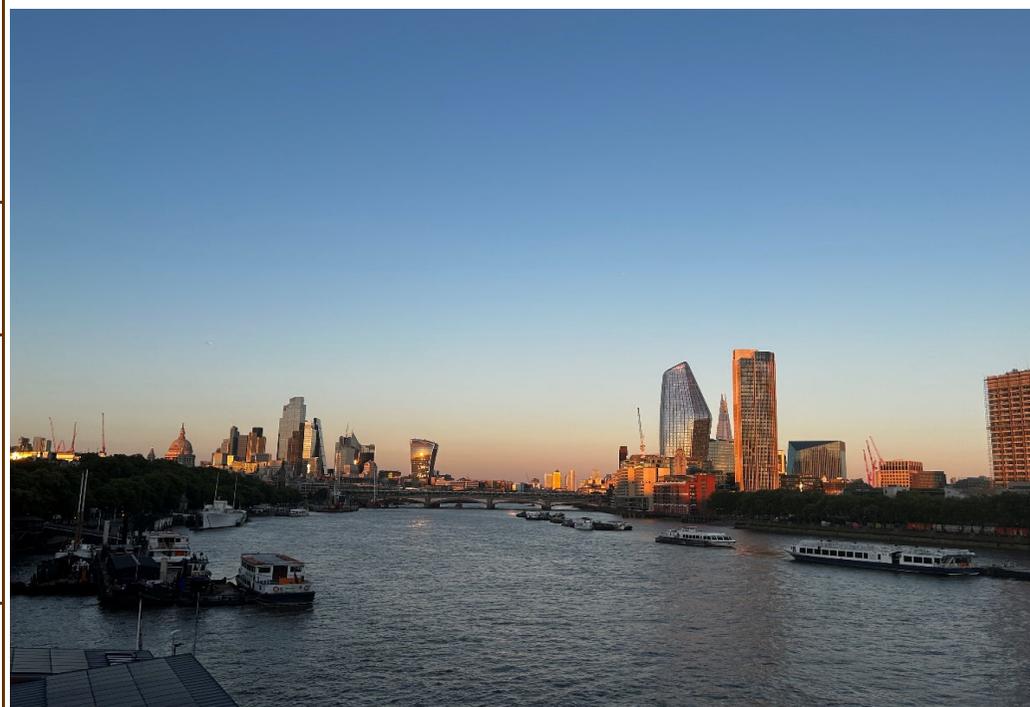
## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

新しい環境に身を置くことは自分自身も成長できますし、たくさん学びも得られます。とくに研究に興味がある人はもちろん、研究に全く興味がない人でも、学部学生のうちに海外で研究に触れる・体験できるというとても貴重な機会だと思うので、強くおすすめします。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

住む場所を決めることに時間がかかっていたこと、円安であること、どのように国や研究室がいつごろ決まるのか分からなかったこと

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：ロンドンのテムズ川と夕焼けです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：トロント大学（カナダ）

## Q. 今回の留学プログラムの感想

日本で生活しているときは勉強部活アルバイトなど様々なことに追われているが、トロント留学の2か月半は全ての時間を研究に費やすことができたのが良かった。渡航前は研究室経験もなく英語力も未熟な自分が海外の研究室でしっかりやってくれるのか不安に思っていたのだが、研究室の教授も研究員や大学院生の方々が皆本当に親切で、自分たちの研究の傍ら私の研究内容の相談に乗ってくださったり、研究手技を一から教えてくださったりした。研究室内で行われるラボミーティングにも参加させていただき、英語で自分の研究の進捗をプレゼンし今後の進め方についてアドバイスをいただくという経験ができた。トロントは移民が本当に多い地域で、留学生や移民に対しても優しく、とても住みやすいところだった。今回の留学を通して、真剣に取り組んでいればたくさんの方が助けてくれるという事を実感した。

## Q. 健康管理や危機管理について

ありがたいことにとりわけ危険な目には遭わずに済んだのだが、カナダでは薬物が合法で取引されていたり、ホームレスの方が多かったりなど、日本とは異なる点も多いので、夜繁華街を一人で歩かない、人の多すぎる場所にはいかないなど、ある程度の緊張感をもって行動していた。

## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

応募前や渡航前には自分が望んでいるものが得られるのか、自分が海外の研究室でやってくれるのかなど、いろいろと不安もあるかと思います。また、留学のために準備する書類も多岐にわたり、大変な思いをするかと思います。しかし、実際に留学を経験してみると、それらを乗り越えるだけの価値があったなと思います。数か月後の少し成長した自分を楽しみに、ぜひ諦めず挑戦してみてください。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

自分の英語力に自信がなく、研究の内容が英語で理解できるのか、という点が特に不安だった。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：ナイアガラの滝。大量の水を前に自分の小ささを感じられて良かった。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同